



ヨツボシケシキスイ号

3月定例クリーンアップ

【活動報告1】

3月27日(日) 10:00~11:30 晴れ

飯村優介

実施内容：六浦2号橋～大道橋（土嚢袋2袋）

参加者：飯岡学、沖田正孝、柏倉正和、柏倉陽向（中3）、
柏倉陽斗（小6）、小野田勇介、寺尾勝廣、柴田繭子、貞廣宇保（中3）、飯村優介（計10名）

気づいた点：桜も咲き、
少しずつ参加者も増えている。



回収したゴミ



ヨツボシケシキスイ（四星芥子木吸）

学名：*Glischrochilus japonius*

北海道から九州まで広く分布する1cm程の甲虫。6月から9月頃にかけて、クヌギやコナラ等の樹液に集まる。メスは樹皮の隙間等に産卵し、幼虫は樹液や他の昆虫類の幼虫を食べて育つ。

ケシキスイは漢字で書くと「芥子木吸」となり、芥子粒のように小さく、樹液を吸う種が多い事に由来する。オスは左右非対称の大顎を持ち、小さいながらもクワガタのようなフォルムから密かなファンも多い(?)昆虫だ。



深沢大地

桜の満開日を少し過ぎた4月2日、子ども連れで侍従川付近の春の野草摘みを楽しむ会に参加しました。ガイドをしてくれたのは野草に造詣の深い飯村さんと寺尾さんです。

当日は予報より早めに雨が降り出し、あいにくのお天気。コロナの影響もあり、参加者は私たちを含め二家族、雨にも負けない食いしん坊の女性たち5人です。

野草は旬が短く、その年の気候によって時期が前後するため、素人にはタイミングを見計らうのが難しいものですが、普段からジョギングで野草ウォッチングをしている飯村さんは、今しかない！という野草たちをたくさん紹介してくださいました。持ち帰って後から確認できたものだけでおおよそ10種、ノビル、タンポポ、ツリガネニンジン、ハルジオン、タラの芽、ハリギリ、ユキノシタ、シイタケ、セリ、ヤブカンゾウ。種類も量も想像をはるかに超える豊富さです。

中でも飯村さんのおすすめはツリガネニンジン。アクが少なく、調理しやすく美味しいのです。中1の娘は丸い葉っぱが可愛らしいユキノシタを積みながら「楽しいっ！」と雄叫びを上げていました。研ぎ澄まされる狩猟採集の本能と収穫の喜び！雨で森の香りが際立ち、癒し効果も抜群です。

圧巻はタラの芽と天然シイタケでした。どちらも険しい斜面へ飯村さんが軽やかに分け入り、ナイフで丁寧に採取してくださいました。野草は天然の恵みではありますが、森や川を保全する人の手があってこそ。木や株を傷つけないように採取するマナーも大切です。



寺尾さんからは、毒草の見分け方も教えていただきました。この知識も非常に大事。冷たい雨も何のその、昼過ぎにはみんな袋いっぱい野草を詰め込んで解散となりました。定番の天ぷらの他、お浸しや玉子とじ、みそ汁やギョウザの具など、毎日野草づくしです。

汚れ落としで野草を水に浸したらサクラの花びらが浮いてきて、こんなところでも春を堪能しました。寺尾さんおすすめのタンポポのつぼみの天ぷらは、ほんのり甘みがあって、子どもたちに大好評でしたよ！

野草の知識があると山歩きの楽しみも倍増します。すでに来年の春が待ち遠しい！



新入生歓迎遠足 in 森戸川

4月9日(土) 9:00~16:00

【活動報告3】

深沢大地

毎年恒例の新歓遠足、今年は葉山町と逗子市を流れる森戸川へ！ 森戸海岸をスタートし、大山林道の奥に位置する最源流まで川の中を歩きました。

海から間もない河口域ではクサフグやケフサイソガニといった汽水域ならではの生き物が見られました。

下流域から中流域ではウナギやアユ、上流域ではヨシノボリやヌマエビ等と、種類層が変化していくのを感じるのは、長い距離を移動する観察だからこそ楽しめるポイントです。

街中を抜けて源流域に入ると、頭上からオオルリやセンダイムシクイのさえずりが聞こえてきます。

季節の変化と足腰の疲労を感じながら「始まりの泉」まで歩き、達成感も得た所でお開きとなりました。



森戸海岸 (スタート地点)



始まりの泉 (ゴール地点)



ニホンウナギ



ハンミョウ



ツチガエル

春の里山観察会 in 朝比奈北市民の森

【活動報告 5】

4月17日(日) 10:00~15:00

大塚倅之介(小4) プラコップで罌をしかけたり、色々な虫のつかまえ方を教えてもらえて楽しかったです。今度やってみます。

山本悠晴(小4) キノコが好きなのでキクラゲを触ったりできて良かったです。色々な虫を知れて、楽しかった。

中園遥太(小4) 爬虫類が好きなので、トカゲが見れて良かったです。色々な種類の昆虫が観察できて楽しかった。

中園瑛太(小6) 普段身の周りで見ることがない生き物が見られて良かったです。コムスジを上手く捕まえられてうれしかった。

深沢大地 朝は雨が降っていて実施判断も難しかったのですが、集合の10時に合わせて雨雲が抜けました。その後12時頃に気温がぐっと上がり、生き物の活動が活発になる瞬間を感じられたかなと思います。スイーピングやビーティングといった手法で捕まえた小さな昆虫を、図鑑と見比べながら観察しました。飯村さんと寺尾さんによる植物やキノコのレクチャーに、予定には無かった本流最源流部の探検も加わり充実の1日となりました!



ナガサキアゲハ



二ホントカゲをつかまえた!



ビーティングの様子

4月定例クリーンアップ

【活動報告 4】

4月24日(日) 10:00~12:05

曇り一時雨

飯村優介

実施内容：六浦2号橋~大道橋(土嚢袋3袋)

参加者：寺尾勝廣、沖田正孝、小野田勇介、今井康祥、柏倉正和、柏倉陽向(高1)、柏倉陽斗(中1)、千葉理樹、千葉正江、千葉瑞規(小2)、大村和孝、大村由希子、大村知史(小2)、大貫俊勝、大貫祐香、大貫花之助(小2)、大貫小梅(年長)、藤田雅也(高2)、貞廣宇保、五月女陽斗(中2)、中園遥太(中1)、中園瑛太(小4)、大塚一恵、大塚倅之介(小4)、飯村優介(計25名)

気づいた点：参加者も多く観察も楽しんでいただけました。ウキゴリ、シマヨシノボリの卵塊がありました。シマヨシノボリの産卵は初期です。



回収したゴミ

<侍従川の治水と環境保全についての意見交換&情報共有会>

- ・日時：3月17日（木）13：30～14：10
- ・場所：観音崎自然博物館
- ・参加者：高橋のりみ議員（以下のりみ議員）、山田代表、佐野副代表、飯村クリーンアップ担当リーダー

観音崎自然博物館で侍従川の治水と環境保全について、市議会議員の高橋のりみさんを交えて意見交換&情報共有会を行いましたので報告します。



会場の観音崎自然博物館

■ 議事内容

① 中野橋周辺のアシについて

- ・大道の地域が横浜市での浸水地域に指定されたので、川の氾濫について地域の不安が高まっている。
- ・侍従川に生えているアシが川の氾濫に繋がるのではないかと一部の住民から出ている。
- ・現時点では、アシが原因で侍従川が増水して氾濫するかどうかは科学的に検証されていない。
- ・アシや土手の土をすべて取っ払うという0か1かの考えではなく、今はこの部分をこのくらい刈る、ここは除去する、これは残すというような常に生き物が生息しやすい環境に配慮したやり方を頭に入れて対処する必要がある。
- ・住民の方の不安を解消するために、増水や流れに影響があるかないかに関わらず、年二回は刈る必要があるのではないかと。

② 川の増水で下水が逆流してマンホールから浸水した事案について

- ・のりみ議員が横浜市道路局に逆流をおさえる仕組みを取り入れることで解決した。

■ 侍従会からの要望

- ・神奈川県治水事務所には、科学的エビデンスに基づいたアシが川の増水に与える影響の検証、適切な治水と環境保全の方法を示してほしい。
- ・地域からの侍従川の増水の心配の声は、以前からある大道町内だけではなく、西大道町内からの声も大きいので西大道町内会長とも話し合いをしていきたい。
- ・侍従会は、一部の住民の方が思っているような環境だけ考えて、川の安全面をないがしろにしているのでなく、治水を考えた上で、環境に配慮した安全な川づくりを考えていることを住民の方に知ってもらいたい。
- ・現時点では、アシが原因で侍従川が増水して氾濫する科学的根拠がないことを、中立の立場であるのりみ議員から住民に伝えてもらいたい。

- ・神奈川県治水事務所に対して大村議員などの県議会議員からアプローチしてもらったかどうか。侍従会の会員になっている他に議員にもお願いし、党派を超えた対応をお願いしたい。
- ・侍従川は、子どもたちのコミュニティの場であり、周辺学校などの環境教育の場でもあるので、その声も聞いて欲しい。
- ・現実的には調整池の確保は難しいが、横浜市域分の上流の流れに工夫をするなど、総合的な治水を考えていきたい。

■ のりみ議員からの提案

- ・のりみ議員と数人で立ち上げる金沢シーサイド FM を侍従会の活動を広めるために利用したらどうか。
- ・山田代表も事務局として名を連ねている金沢区子ども会連合会に、のりみ議員も事務局で入っていることもあり、子ども会とのコラボ、例えば、以前行っていたアシ船づくりのような侍従川のアシを使って盛り上がるような運動ができると、地域からの侍従会の活動に対する目も変わるのではないか。

■ まとめ

- ・治水や生き物の環境保全に考慮したアシの刈り取りや土砂の削り取りは必要と考えている。侍従会としては目先のことだけを考えるのではなく、5年後、10年後を見据えて、川と周辺地域が上手く共存できるように長期的な視点で侍従川と関わっていく必要がある。
- ・治水と環境保全は相反するものでなく、侍従川をより良い川にしていこうという共通の目的を持っている。侍従会の活動を理解してもらうように周辺の地域住民の方への情報発信が重要である。そのために、子ども会や青少年指導員や六浦地区センターや大道コミュニティハウスなど地域と共催したイベントも有効である。

生き物発見記録

3/23 (水) 金沢区瀬戸一丁目 (上空) でチョウゲンボウを発見 (深沢)

3/27 (日) 金沢区
大道二丁目 (大道橋
付近) でツバメを発
見 (深沢)



4/5 (火) 朝比奈町と釜利谷地区の境、侍従川源流
の森にてホンドタヌキを発見 (飯村)



5/10 (火) 加倉橋下でゲンジボタルのオスを2頭
発見 (飯村)

北の国から ～季節が変われば苫小牧と横浜の両方で普通に見られる小鳥～

瀧本宏昭

苫小牧周辺でのバードウォッチングの途中で発見しても「なんだあ。」と、つい興味が無いよう反応をしてしまう野鳥がいます。頭の緑色と腹の黄色が特徴的で、スズメと同じ位の大きさのアオジと言う名の小鳥です。

昼寝をしたくなるような暖かさの季節になると、苫小牧周辺の林で最も簡単に見つけられる小鳥です。それでも、私が初めて苫小牧に引っ越してきたばかりの時には、枝先などの目立つ場所でアオジがさえずる姿を見て、とても感動していました。アオジの姿は見慣れていたものの、さえずる姿を見たのは初めてだったからです。その感動を例えると、知り合いが晴れ舞台に出演したのを見た時のような感覚でした。

実は、横浜の森でもアオジの姿は普通に見ることができ、横浜自然観察の森でも見慣れていました。ただ、見られる季節は秋から冬の越冬期と言われる期間のみで、子育ての時期特有の鳴き方のさえずりを聞くことができなかったのです。横浜で聞いていたのは「チ、チ」という非常にシンプルな地鳴きという声だけでした。逆に、苫小牧では冬の間アオジの姿を全く見ません。

横浜と苫小牧は、同じように海に面した港町で標高も変わりませんが、同じ種類の野鳥の行動が違ふことで、緯度によって生き物のくらしが変わることを体感させてくれます。当たり前存在だからこそ、分かりやすく教えてくれることがあると感じます。



北海道だと堂々としている印象



胸を張って、美声を響かせます

トピックス

神奈川県ともしび運動で神奈川県横浜川崎治水事務所から、胴長、土嚢袋、スコップをいただきました。

4月 3日 (日) バチ抜け観察会 in 侍従川 雨天中止

4月24日 (日) 干潟の野鳥観察会 in 野島 雨天中止

朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

早春から森のあらゆる動きがスピードアップする。

今年は2月半ばから天然シイタケが大生育した。3月に長いピークとなった。

桜開花は山野草木の芽の重要な目安だ。タラの芽、ハリギリの芽も一番芽の良い旬は短い。4月の終わり頃、やや山奥の開けた場所でアシブトアミガサタケが出る。その後は初夏の気配となる。



タラの芽



ハリギリの芽



天然シイタケ



オオミスアオ



アシブトアミガサタケ

侍従川定例調査報告 学生部

2022年3月27日(日) 13:00～16:00〔上流調査〕

【参加者】飯村、金子、五月女、柏倉、深沢

【調査範囲】二の橋～金之橋

【ハゼ類の卵塊】二の橋～第二山王橋 不明(ウキゴリ?) 2

第二山王橋～中野橋 ウキゴリ 2

中野橋～加倉橋 不明(ウキゴリ?) 1

加倉橋～大道橋 不明(ウキゴリ?) 3 ウキゴリ 3

大道橋～里野橋 不明(ウキゴリ?) 1

※親が確認できなかったものは不明としました。

【その他の生物】チチブ 16、コモチカワツボ 多数、イシマキガイ 2、モクスガニ 3、コシボソヤンマ(幼虫) 2、ヤマサナエ(幼虫) 1、スミウキゴリ 1、モンカゲロウの仲間(幼虫) 1、ダビドサナエ(幼虫) 8、シマヨシノボリ 2、カワガラの仲間(幼虫) 1、サワガニ 1

事務局だより

◆6月～9月の活動予定

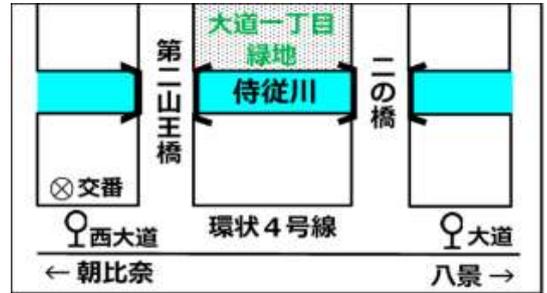
☆定例クリーンアップ 6/26 (日)、7/24 (日)、8/28 (日)、9/25 (日)

10時～11時 大道一丁目緑地 (ちとせ園) 集合

※雨天中止

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、
網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人)

※川の上からの参加でも構いません



前号で、「令和4年8月から横浜市水辺愛護会をふるさと侍従川に親しむ会が委託、業務運営する予定です。」とお伝えしましたが、予定はキャンセルになりました。定例クリーンアップの活動範囲もこれまでどおりで、変更はありません。お騒がせしました。

代表 山田陽治

☆7/10 (日) 野外で役立つロープ術 9時～14時頃 ※雨天中止 <要申込>

～キャンプで困ったことはありませんか？ タープのロープに付属の部品が無い(;°□°)・・・ロープのみでタープを張ってみましょう！～

～朝比奈の森も歩きますので、虫を捕りたい方は道具と図鑑をお持ちください～

[集合] 9時 大道一丁目緑地 (旧称：ちとせ園)

[活動場所] 朝比奈北市民の森周辺

[持ち物] マスク、昼食、飲み物、帽子、タオル、レジャーシート、消毒道具などコロナ感染対策品、その他必要と思われるもの

[参加費] 会員無料、非会員¥200

[申込先] 緊急連絡先 (雨天中止連絡アドレス) を記入の上、★を@に書き換えて info★jjyukai.sakura.ne.jp (担当：寺尾) 宛にメールで申し込みください。

☆いかに遊び 7月下旬～8月辺り

～3年ぶりに川下り大会開催を計画中！～会員限定です。

◎詳細決まり次第、メーリスや侍従会LINEでお知らせします。同時にホームページにも掲載しますのでお見逃しのないようご注意ください。

侍従会のホームページはこちら

<https://jjyukai.sakura.ne.jp/wp/>

これまでの会報は全てホームページで見ることが出来ます。



☆9/18 (日) ハゼ釣り大会 9時～14時頃 *雨天中止 <要申込>

～侍従川の下流域でハゼ釣りをして、釣れたハゼは捌いて天ぷらにして食べましょう!～

[集合] 9時 六浦駅改札前

[活動場所] 午前…汐見橋周辺 (下流域) ←釣り

午後…大道一丁目緑地 (中流域) : 昼食の後、天ぷら調理^{※1}・試食の予定です。

※1 調理は感染予防対策の為、スタッフが行います。

[持ち物] 釣具&釣竿(レンタル竿:数本有り^{※2})、マスク、昼食(買い弁可)、飲み物、帽子、タオル、レジャーシート(必要な人)、ウエットティッシュ(必要な人)、箸&皿、消毒道具などコロナ感染対策品、その他必要と思われるもの

※2 **竿 (竹竿) レンタル希望の方**はお名前と希望本数、緊急連絡先 (雨天中止連絡アドレス) を記入の上、下記寺尾まで申込ください。

[参加費] 会員無料、非会員 ¥500 (材料費)

[申込先] 緊急連絡先 (雨天中止連絡アドレス) を記入の上、★を@に書き換えて info★jijyukai.sakura.ne.jp (担当:寺尾) 宛にメールで申し込みください。

■学生部の活動

☆定例調査 6/26 (日) 定例クリーンアップ後の午後に実施 ※雨天中止

[時間] 13時～16時頃 [内容] 上流域の生物個体数調査

[集合] 13時に大道一丁目緑地 (ちとせ園) [対象] どなたでも

[持ち物] 水に入れる格好、網、バケツ、飲み物、着替え (必要な人)、その他観察や採集に使いたい物

実施中!

☆大道溪谷ゲンジボタル頭数調査

[実施期間] 5月25日 (水) ～7月上旬 (予定) の毎週水曜日と土曜日

※雨天中止 (中止の場合当日18時までにメーリングリスト、LINEにて連絡します。)

[時間] 19:00～21:00 [集合解散] 大道中学校 体育館前

[参加対象] どなたでも ※申し込み不要

[留意点] ・小学生以下は保護者同伴での参加をお願いします。

・中学生以上は保護者の承諾を得ての参加をお願いします。

・夜間の調査になるので、大きな声で話したり騒いだりしないようお願いします。

・調査終了後は速やかに帰宅しましょう。

・マスク着用等感染対策は各自お願い致します。

※当日体調の優れない方は参加ご遠慮ください。

[問合せ] daichan.orca★gmail.com (★を@に置き換えてください) (深沢)



☆夕暮れの生き物観察会in瀬上市民の森

夏の夕方、活発に活動する大型のトンボと、日中は息を潜めているヘビ類を主に観察します。タヌキやコウモリ等の哺乳類、アオゲラやフクロウ等の鳥類も見られるかも?!

[日時] **7月23日(土)** 16時~19時頃

[集合] 16時 神奈川県立横浜栄高等学校 校門前 [解散] 19時頃 現地

[持ち物] 飲み物、捕虫網、その他観察に使いたい物

※長袖長ズボンや虫除けスプレー等の虫刺され対策を各自お願いします。

[参加対象] 中学生以上 **※申し込み不要** 当日集合場所にお越し下さい。

[留意点] ・観察地は自然度が高く、ハチや毒蛇等危険な生き物も沢山います。十分注意しましょう。当日体調の優れない方は参加ご遠慮下さい。

※雨天中止 当日14時までにメーリングリスト、LINEグループにて連絡します。

[問い合わせ] [daichan.orca★gmail.com](mailto:daichan.orca@gmail.com) (★を@に置き換えてください)

080-6714-2000(深沢)

☆学生部夏合宿 ※場所未定

[日時] **7月30日(木)~31日(金)**

◎詳細は決まり次第メーリングリスト、LINEグループ、ホームページにてお知らせします。

☆干潟の野鳥観察会in野島

秋は鳥達の渡りの季節! 平潟湾にも極東ロシアやアラスカ等で繁殖し、オーストラリアやインドネシア等で冬を越すシギやチドリの仲間が立ち寄ります。

[日時] **8月28日(日)** 13時~16時頃

[集合] 13時 野島公園駅改札 [解散] 16時頃 現地

[持ち物] 飲み物、双眼鏡(多少の貸出あり)、野鳥図鑑(持っている方)、その他

※双眼鏡をお持ちでない方は事前に深沢まで連絡をお願いします。

[参加対象] どなたでも **※申し込み不要**

[留意点] ・道路を歩いての観察になります、十分注意しましょう。

- ・鳥を驚かさないうる静かに観察しましょう。
- ・こまめな水分補給等、熱中症対策をしっかりとしましょう。
- ・当日体調の優れない方は参加ご遠慮下さい。

※雨天中止 当日13時までにメーリングリスト、LINEグループにて連絡します。

<< 新型コロナウイルスの対応について >>

6月以降も例年どおりの活動を予定していますが、状況により変更・中止となることがあるので、その場合は、ホームページ及びメーリングリストでお知らせします。ご了承ください。活動参加の際は、マスク着用等感染対策は各自でお願いします。

～侍従会公式 LINE グループのお知らせ～

昨年より使用している LINE グループですが、LINE アプリのアップデートによりグループ参加が簡単になりました！

LINE アプリから QR コードを読み取ると参加できます。

行事連絡と写真の共有が主な用途です。是非ご参加下さい！



<<2022年度会費納入のお願い>>

4月から新年度になりました。新年度分の会費の納入を **6月中**にお願いいたします。
現金での支払いは間違いのもとになりますので、必ず郵便局払込取扱票 [青色：払込料金払込人負担] での振り込みをお願いします。

口座番号：00230-5-68634 加入者名：ふるさと侍従川に親しむ会

年会費：家族4,000円、大人3,000円、

学生部（大学生まで）・ジュニア1,500円

※家族会員は、家族であれば、何人でも4,000円です。

[会員情報の記入のお願い] 通信欄に以下の情報を記入してください。

①会員種別（家族、大人、学生部・ジュニア）、②お名前（全員分）、③会報郵送希望の有無

※会員情報を記入していただかないと郵送物（総会のお知らせ・会報等）をお届けすることができないので、振り込む前に必ず確認・記入をお願いします。

なお、継続会員で、かつ転居など会員情報に変更がない場合、銀行からの振り込みも受け付けますのでご利用ください。

◆ゆうちょ銀行からの振り込みの場合

口座番号：00230-5-68634 ふるさと侍従川に親しむ会

◆他の銀行からの振り込みの場合

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：029 預金種目：当座

店名：〇二九店（ゼロニキュウ店） 口座番号：0068634

問合せ先:スタッフ又は info★jijyukai.sakura.ne.jp (★を@に置き換えてください)

☆☆森の忍者こと飯村さんの

個展のお知らせです☆☆

飯村 優介 個展

日本美術家連盟会員 独立美術協会会友 

2022年7月4日（月）～10日（日）

11:00～18:00（初日13:00より、最終日16:00まで）



画廊 楽 I

〒231-0028

横浜市中区翁町1-3 小原ビル1F

TEL・FAX 045-681-7255

mail raku@gallery-raku.com

<https://gallery-raku.com>



《編集後記》 生き物発見記録(6頁)でお伝えしたように、今年のホタルの初見は5月10日で、例年と比べて早かったです。ここ数年は(お)頃調に増えています。(MK)